

支援に募金センター設置

チッソ
水俣新労 市に協力呼びかけ

チッソ水俣新労は十三日午後三時から執行役員、代議員、分会長の合同会議を開き、水俣病問題や再建五カ年計画推進対策などについて協議、次のような方向を決めた。

①水俣病患者や遺族の補償につ

いては、納得のいく話し合いで解決していくとの会社の確約をとつたので、今後その方向で会社を監視し支援していく②水俣工場の再建五カ年計画について変更する意向を会社側はもらしているが、事業縮小あるいは撤退も考えられる

ので、地域社会の問題として今後再建五カ年計画を計画どおり推進するよう強力に働きかける③水俣病患者および家庭の支援体制を確立していく。具体的には患者家庭互助会の分裂を阻止し、経費的支援のカンパ活動を呼びかけ、カンパ資金を集約する募金センターを市当局に設置してもらい、持続的な支援体制を確立していくの三点。

なお同労組は十四日、橋本市長「救済する募金センターを設置してあてに「早急に水俣病患者家庭を「ほしい」との要請書を提出する。」